

糖尿病治療前線 ②

国民病とどう向き合って闘えばいいのか



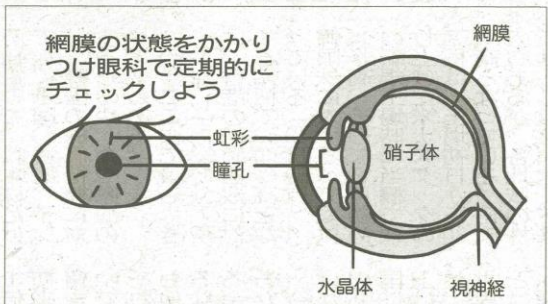
大西俊一郎(おおにし・しゅんいちろう) 国際医療福祉大学医学部講師。千葉大学卒業、同大学院修了。日本糖尿病学会研修指導医・糖尿病専門医、日本内科学会認定指導医・認定内科医、日本老年医学会評議員・認定老年科指導医・老年科専門医、日本医師会認定産業医、日本医療マネジメント学会医療福祉連携士、日本スポーツ協会公認スポーツドクター、日本コーチ協会プロフェッショナルメデイカルコーチ。医学博士。

糖尿病が引き起こすさまざまな合併症。今回は「網膜症」を取り上げる。糖尿病が原因で目の血管がやられて起きるこの病気。気づかずに放置するとある日突然「失明」することもあるという。

糖尿病の代表的な合併症として、神経障害、腎臓病、そして「目の疾患」がある。と前回書いた。国際医療福祉大学成田病院の糖尿病・代謝・内分泌科講師である大西俊一郎医師は、こう呼びかける。

突然視力が…症状なくても年1回は眼科受診を

動脈硬化が進み血管詰まる「網膜症」



「糖尿病が原因で失明する人は、国内で年間約3000人と少なくない。そしてその多くが、自分の目がダメージを受けていることに気づいていない、あるいは気づいていても治療を受けていなかったため、ある日突然視力を失ってしまうのだ。これを防ぐには、定期的

に眼科で検査を受ける以外にない。糖尿病が原因で起きる目の合併症として特有のもの「網膜症」である。網膜とは、目の内側に張り巡らされたスクリーンのような膜のこと。糖尿病によって動脈硬化が進み、網膜に栄養を送る血管が詰まってしまうのが糖尿病性網膜症だ。「血管が詰まって栄養が行き届かなくなると、栄養不足になった網膜の細胞は『VEGF(血管内皮細胞増殖因子)』と

「VEGFを出している細胞をレーザーで焼灼する治療がある。眼科にはこれを防ぐための治療がある。」

(長田昭二)

という物質を放出します。VEGFは周囲の血管から栄養を漏れ出させるように働きかけ、「新生血管」という細い血管を作ります。しかし、新生血管は非常に脆(もろ)くできていため、重いものを持ったり、トイレでいきんだりして眼圧が高まると、その衝撃で出血を招くことがあります。」

網膜の状況は「眼底カメラ」で見ることができ、これで診断できないときは、造影剤を使った検査ではっきりさせることができます。

網膜の状態は「眼底カメラ」で見ることができ、これで診断できないときは、造影剤を使った検査ではっきりさせることができます。

「黄斑を見る検査は、瞳孔を広げる薬を使うので、検査のおと半日は車の運転ができなくなりま

「黄斑を見る検査は、瞳孔を広げる薬を使うので、検査のおと半日は車の運転ができなくなりま

(長田昭二)